

ねぎぼうず便り



学校法人
藍香学園 深谷大里看護専門学校

2012年、7月
夏号 Vol.9

紫陽花の花のころ



学校法人藍香学園
深谷大里看護専門学校
学校長 大坪 公子

梅雨晴れに紫陽花の花の美しいこのごろです。学生の皆様は新しい気持ちで新学期を迎えられ、看護学の勉学に励んでいることと思います。

三年課程の学生で、1年生は「看護師になる」という明確な目的をもって、この学校に入学なさいました。看護の基礎となる勉強をしていることと思います。看護師に必要な大切なことは「やさしい心で他の人を思いやる」ことではないでしょうか。自分の基本となる人間性を確立していくことが必要なので、広く世の

中のことを見渡し、色々な本を読み、他の人の意見をよく聴き、人間としての巾を広げていくことが大事だと思います。学校に通い勉強することに喜びを見出すようになってほしいです。

2年生は5月18日に「戴帽式」が行われ、看護の精神を深く学んだことと思います。この儀式はとても厳粛に行われ、ろうそくの明かりの中で看護の

(短歌)

声合わせ 心を合わせ 高らかに 看護の誓ひ 講堂に響く(戴帽式にて)
＜公子＞

「誓いの言葉」を16回生全員が声をそろえて高らかに唱えました。「病む人のために尽くす」という気持ちが私たちに強く伝わり感動致しました。全員がよくそろってここまで成長したと思います。これから本格的な実習が始まりますが、どうか一人も欠けることなく実習を乗り越えて下さい。

3年生は実習と勉強の毎日だと思います。現在勉強していることは生涯の宝となる勉強であって、一つも無駄はありません。自分の職業として役立つものばかりです。どうか心を込めて勉強して下さい。全員が看護師国家試験に合格できるよう頑張りましょう。ただ単に合格するというのではなく、一人前の看護師として「やさしい心で他の人を思いやる」ことができる優れた人間性を備えた看護師になりましょう。

二年課程通信制の学生の皆様は、看護の現場をよく知っている皆様です。さらなる看護学の勉強をしようと向上心あふれる皆様です。1回目のスクーリングで一部の学生の皆様にお会いしましたが、積極的に課題に取り組み生き生きと勉強している姿を見て、このコースを作った本当に良かったと思いました。指導に当たっている先生方も「学生の熱意におされて、疲れも忘れて教育しています」とのことです。わずか2年間ですから、皆で頑張りましょう。

私は学校の教育環境を良くしようと、校庭に花や木を植えています。

旅立ちの時

第14回生卒業式 ー平成24年3月2日(金)ー



34名の学生が巣立って行きました。

深谷市や医師会、実習先でお世話になった病院関係の来賓の皆様、3年間指導を受けた先生方、教え教わることで共に励まし合った後輩たち、3年間暖かく見守ってくださった家族に祝福されての巣立ちの日です。

きょうの輝きと感謝を、ずっと持ち続けてください。

平成24年度はじまる

2年課程通信制開学

平成24年4月1日に2年課程通信制が開学しました。
4月9日に第1回生98名を迎えての入学式が行われました。

第17回生入学式—平成24年4月9日(月)
(3年課程)

第1回生入学式—平成24年4月9日(月)
(2年課程通信制)



入学の決意

満開の桜が咲き誇る中、私たち44名は沢山の方々からの祝福を受け、深谷大里看護専門学校に入学しました。まずは、盛大な入学式を行ってくださいました、校長先生をはじめ、諸先生方、来賓の方々、先輩方、ご父兄の方々に感謝を述べたいと思います。本当にありがとうございました。

第17回生 青山洋子



授業が始まり、現在は看護師の基礎を学んでいます。専門的で非常に難しい内容もありますが、新たな学びは興味深くもあります。また、同じ志を持つ素晴らしい仲間と出会えたことで、切磋琢磨しあい、充実した毎日を送ることができています。

これから3年間、非常に険しい道のりであることでしょう。私たちは、どんな荒波に飲まれようとも、自分を信じ努力し続け、一歩ずつ力をつけていきたいと思いません。



誓いの言葉

2年課程通信制 第1回生 黒崎友未



例年がない厳しい寒さが続いていましたが、ようやく春の日差しが感じられるようになった今日、私たち98名は深谷大里看護専門学校2年課程通信制の入学を許可されました。この良き日に、このような盛大な入学式を挙げていただき、心より感謝いたします。私は大学卒業後、社会人として働いていましたが、人の役に立て、より社会に貢献できる専門職に就きたいと思い、看護職を選び、働きながら准看護師の資格を取得しました。臨床に出たばかりの頃は、無我夢中で日々の業務に追われていたことを思い出します。十年が経過した今、いくつかの職場異動も経て、中堅と呼ばれる立場になっていました。しかし、日々の看護で

力不足を感じる事が多くあり、年に数回参加する各種研修会でも知識不足や、看護職としての未熟さを感じていました。より良い看護をしたいと考えながらも、どのように学習したら良いのかわからず、継続した学習にはいたりませんでした。また、東日本大震災では第一線で活躍する看護師や、いまなお復興途上で看護活動をする多くの看護師がいることが報道されています。どんなときにも、人々の生命や生活を守ろうとしている真摯な姿を目の当たりにして、自分もその一員になれるよう力を持ちたいと思いました。今回入学できたことで、以前から希望していた進学への夢のスタートラインに立つことができました。看護の仕事を一生涯の仕事にすべく、より確かな知識と高度な技術を身に付けたいと思います。そして、患者様やご家族から信頼され、医療チームの他の職種からも頼りにされる看護師を目指します。自信を持って看護にのぞむ、未来の自分の姿を想像すると、看護師という職業に一層誇りが持て、より看護が好きになっていると思います。経験や経歴も異なる私たち98名ですが、生活と学業を両立しなければならぬ通信制で学ぶことを選択した同志として、切磋琢磨し、出藍の誉れの精神で、看護師資格取得を目標に勉学に励むことを誓います。

新入生のみなさんへ

3年 岡田祐輔

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。呼名において、一人一人の力強い返事に、看護師になりたいという思いが感じられ、私も入学した時の期待と不安でいっぱいだったことを思い出しました。これからの3年間の中で大変なこともあると思います。しかし、そのような時こそ先輩、先生を頼ってください。看護は一人で行うものではなく、チームプレイが基本です。そして、これから共に学んでいくクラスメイトがいます。「誰かの役に立ちたい、助けたい」などそれぞれ思いを持って入学されたものと思います。今のその気持が何よりずっと自分の支えになりますよ。一緒に理想の看護師を目指して頑張りましょう。

春の交流会—平成24年4月13日（金）

春の交流会 2年 中務綾乃

春の交流会は、私達2年生が中心となり10月から企画を考え準備してきました。1年生には学校の事を知ってもらい、早く打ち解けられるよう、3年生には下級生と交流する事で実習中の気分転換となることを目標とし、ゲームやお茶会を開きました。特にお

茶会では1年生から3年生が親しみを感じ、楽しく話が出来るように長く時間をとりました。1年生は「授業のペースについていけるか」「ノートのとめ方はどのようにすれば良いのか」などの不安な事を積極的に質問していました。それに対し、2、3年生が自分なりのアドバイスをしていました。私達2年生も7月からの基礎実習Ⅱに向けて不安な事を3年生に聞く事が出来、少し自信を付けて実習に臨めそうです。皆さんが盛り上げて下さったおかげで楽しい会にすることが出来ました。秋の交流会もよりよい会になるように頑張りたいと思います。皆様ご協力ありがとうございました。



はじめての交流会 1年 榎野愛和

はじめての交流会では、何をやるのだろうと不安と期待の中、会場に入りました。パソコンを使ってのクオリティーの高いスライドショーは、学校生活を含めた面白い内容で、場も和みました。その後のグループでの質問時間も、とても和気あいあいとした雰囲気で行われました。不安だったこと、心配だったこと、気になること、沢山のことをこの時間で知ることが出来ました。先輩たちの話を間近で聞いたことにより、新たに良い緊張感や看護学生としての自覚が生まれました。また、1年生同士でも親交の深まる良い機会となりました。この日得たものを参考にして、学校生活を充実させていきたいです。



基礎看護学Ⅱ「看護過程」の面接授業が行われました。

(2年課程通信制) はじめての面接授業に参加して

第1回生 飯塚順子



4月に20数年ぶりの学生生活をスタートさせましたが、自宅での孤独な学習で、他の方との交流もなく不安な気持ちで過ごしていました。先日はじめての面接授業があり、学校に行き、同じように頑張っている方々と顔を合わせ、話しをすることができたことはとても有意義でした。看護過程について講義を受け、グループワークを進めていく中で、分析・解釈することの難しさを痛感し、更に、思っていることを他者に伝える困難さも知りました。やるべき事は何となくわかっているのに、意見をまとめて文章にするとしっくりこないもどかしさを感じながら、班の仲間と協力し課

題を完成させることができたときはホッとすると同時にとても嬉しかったです。現場を経験し『考えなくても動ける』ようになってしまっている大人の学生達の自尊心を傷つけずに、話し合いを良い方向へと導いて下さった先生方の対応には心から感謝しています。今は元の不安で孤独な学習に戻りました。出来ることならまた学校で皆と一緒に勉強したいと思える楽しく充実した3日間でした。

戴帽式—平成24年5月18日（金）—

来賓、学園関係者臨席のもと、第16回生44名の戴帽式が挙行されました。

誓いの言葉

2012年5月18日、私たち16回生44名は、ここに戴帽の儀を迎えることができました。これまでの1年間、実習施設の皆様、先生方、先輩方、家族、そしてここにいる44名の仲間たち、多くの人に支えられ、ここまで成長することができました。私たちはこの恵まれた環境に感謝の気持ちを忘れず、仲間と共に助け合い、励ましあい努力することを誓います。どんな困難にもくじけない強い心と、どんなつらい時でも相手を思いやる心を育むことを誓います。太陽の光のようにあたたかい心で接し、患者様がやすらぎ、笑顔で過ごせるよう看護することを誓います。患者様の思いを引き出せる環境をつくり、思いを分かち合い、力になれるよう看護することを誓います。ご家族と



患者様が病氣と向き合えるように支援していくことを誓います。患者様が自分らしく生活できるよう、確かな知識と安全・安楽・自立を目指した看護を身につけることを誓います。このろうそくの灯に誓いと決意を込め、看護の道を志した初心を忘れず、医療の進歩とともに日々歩みを止めることなく成長していくことを誓います。

気持ちをひとつにして臨んだ戴帽式
2年 田角千尋



戴帽式を終えて本当に達成感でいっぱいです。今まで頑張ってきて良かったと思いました。式典係で誓いの言葉を考えている時は、より良い戴帽式にするために毎日放課後にみんなで残り、何度も話し合いを重ねました。誓いの言葉の練習も、16回生全員が協力的で、良い環境の中練習でき、本番前に円陣を組み全員が気持ちをひとつにして戴帽式に臨みました。誓いの言葉が完璧に決まった時、とても感動して涙が出そうでした。式典係として誓いの言葉やBGMを考えることに携わることができて良かったです。戴帽式が終わった後のみんなの顔はとても充実感に溢れている笑顔で、スッキリした表情でした。目標としていた「みんなの一生の思い出となるような戴帽式にする」は達成できたと思いました。私にとって戴帽式は一生の思い出となりました。今この時の初心の気持ちを忘れず、これからも頑張っていきたいと思います。

灯に立てる誓い
1年 清水綾子

厳かな雰囲気の中行われた戴帽式に、私たち1年生も参加させていただきました。まだ看護師への一步を歩み始めたばかりの私たちにとって、先輩方の決意に満ち溢れた姿は、とても神聖にうつりました。戴帽式を行う学校が減っているとのことですが、やはり看護の精神を築いたナイチンゲールの“静で温かな灯”に誓いを立てることの意味はとても大きいと感じました。私たちも先輩方のように、患者さんの傍らに愛を持って寄り添い、正しい判断で看護が出来るようになることを目指したいと思いました。同じ灯に誓いを立てられるよう、その思いを仲間と共有し、励まし合いながら共に向上していきたいと思います。



平成24年6月20日(水)に2年課程通信制の学校説明会が行われました。

当日は40名の方が説明会に出席しました。



3年課程体験入学実施日

平成24年7月30日(月)、31日(火)

平成24年8月 3日(金)、17日(金)

2年課程通信制学校説明会実施日

平成24年 7月28日(土)

平成24年10月17日(水)

平成24年11月15日(木) ※東京会場(三軒茶屋)

平成25年 1月16日(水) 25年度入学希望者は対象外

平成23年度国家試験結果・就職状況

平成24年3月26日(月)、第101回看護師国家試験の合格発表がありました。本校からは35名(新規卒業者)が受験し、97%の合格率でした。合格者は全員が看護師として就職し、医療業界への貢献を目指して頑張っています。

大坪校長渾身の作品。かわいい花々が皆の心を和ませています



正面入り口前の杏の木



収穫した実で杏ジャムを作りました。皆で美味しく頂きました。



消火訓練の様子



編集後記

数年前の夏、学生の皆さんと「下校の際はブラインドを下げる」試みを実施したところ、1ヶ月で約3万円の節電に成功し、数字にもブラインドの効力にも驚かされました。今年も節電の夏にご協力をお願い致します。(^^) T. S